

平成 26 年（2014 年）6 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4 日目）

平成 26 年 6 月 13 日（金）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	金城 徹 (自由民主党 新風会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 企画行政について 2 道路行政について 3 観光行政について	(1) オープンデータの活用について、国の動向と先進都市の活用事例について伺う (2) 翁長市長は、自らの施政方針においても市民協働を提唱し、市政運営の中心に据えている。この施策推進のツールとしてオープンデータの活用を本市でも検討するべきと考えるところであるが、当局の見解を伺う (1) 自治体は、道路法第 28 条の規定において道路台帳の整備が義務付けられているが、現状と今後の整備方針について伺う (2) 道路の損傷等によって住民が被害を被る事例がこれまでもあったが、このような事故の早期の状況把握と被害防止策を講じる上からも道路台帳の情報のオープンデータ化も検討すべきと考えるが、当局の見解を伺う 観光客や市民を対象とした観光名所の紹介、ルート案内、W i F i スポットの紹介、障害者用のトイレの紹介、オープンデータの活用について見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（4日目） 平成26年6月13日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>大城 幼子 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 住宅政策について</p> <p>2 福祉行政について</p> <p>3 健康行政について</p>	<p>障がい者や低所得者など「住宅確保要配慮者」に対する民間賃貸住宅への入居を拒否するケースが頻発しているという新聞報道があった(5月19日)</p> <p>(1) 本市の障がい者の現状を伺う</p> <p>(2) 入居を拒まない支援づくり等の取り組みがあるか伺う</p> <p>心身・経済・環境上の理由から、家庭で養護が困難な高齢者を、市町村が措置する「養護老人ホーム」の入所率が県内で低迷している。主な原因は市町村による措置控えにあると言われているが、本市での現状を伺う</p> <p>九州沖縄地方に多いとされるATL(成人T細胞白血病)やHAM(HTLV-1関連脊髄症)等の病気の原因となるウィルスが、HTLV-1(ヒト細胞白血病ウィルス1型)といわれている 主な感染経路が母乳を介した母子感染であることから、防止対策のため、妊婦への抗体検査が平成22年に妊婦検診の公費負担検査項目として追加された 県内の各市町村においても平成23年から実施されている</p> <p>(1) HTLV-1検査は那覇市ではどれくらいの方が受けているのか、全員義務なのか伺う</p> <p>(2) もし陽性と診断された方への相談体制はどのようなになっているのか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成26年6月13日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>中村圭介 (無所属の会)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 国際通りの観光インフラについて</p> <p>2 中心市街地活性化について</p> <p>3 公設市場の活用について</p> <p>4 協働によるまちづくりについて</p>	<p>(1) てんぶす那覇横壺屋牧志線への観光バスの乗降場整備についての進捗を伺う</p> <p>(2) 国際通り周辺における観光バスの待機場所、乗降場整備計画について伺う</p> <p>国際通りトランジットマイルを活用し、奥武山公園で行われる県のイベント「産業まつり」や「花と食のフェスティバル」などに関連した事業を行ってはどうか</p> <p>(1) 雑貨部、衣料部の空き小間の募集、応募状況はどうなっているのか伺う</p> <p>(2) 「なはし就職なんでも相談センター」や、「ひやみかちまちぐわー館」のような形で空き小間を民間事業者で活用することは可能か伺う</p> <p>(1) まちづくり拠点施設のうち、(仮称)市民活動支援センターの利用は登録制になるとのことだが、個人での利用もできるのか伺う</p> <p>(2) 支援機能や人材育成機能など、手厚いものだが、入居団体の選定はどのように行うのか伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成26年6月13日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>我如古 一郎 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 ブラックバイト問題について</p> <p>2 国場川の河川管理用通路について</p>	<p>近年、大量採用・大量離職、過酷な労働で若者の労働者を使い捨てにする、ブラック企業が問題になっているが、低賃金で正社員並みの責任を要求したり、年休やテスト前の休みをあげない、サービス残業の強制や自社の余った商品を買わされるなど、学生を使いつぶす違法・無法な働き方が、学生アルバイトにも広がっている</p> <p>経済の中心地であり、学生の多い那覇市でこのような事態が起きないように対策が必要と思う</p> <p>(1) 県内の高校・大学・専門学校などに通っている学生の数は何名か</p> <p>(2) 経済活動におけるパート・アルバイトの占める比率を問う</p> <p>(3) このような低賃金で正社員並みの責任を要求し、年休やテスト前の休みをあげない、サービス残業の強制や自社の余った商品を買わされるなど、学生を使いつぶす違法・無法な働き方は行政として対応が必要ではないか</p> <p>(1) 南風原町から一日橋にかけて、国場川沿いに河川管理用通路が整備されつつある。散歩やジョギング道として整備して、くねくね公園や漫湖公園まで繋がると市民の憩いの場が広がるものと期待できるが、県の計画はどうなっているか</p> <p>(2) この河川管理用通路が生活道路になっている、字国場・(通称)樋川地区の川の安全フェンスがかなり老朽化し、傾いて破れているところもある。こどもたちの安全のためにも、市として補修の要請をすべきではないか。見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 道路行政について	<p>(1) 市道識名・三原線、(通称)西銘通りと言われている道路は、識名市営団地・大石公園にも面し、識名小学校と石田中学校などの児童生徒の通学路、地域住民の重要な生活道路である。しかし、車がすれ違う幅員が狭く両側に民家が立ち並んでいる。歩行者も多いのに、安全面の対策は不十分である。対策を問う</p> <p>(2) 街路樹が立ち枯れしているところがあるが、原因と対応を問う</p> <p>(3) 識名トンネルの市民体育館側の出口付近に、信号機を付けて人も車も横断できるようにしてほしいという自治会や住民からの要望に、本市としてどのような対応をしているか。警察はどのような対応をしているのか。今後の予定も含めて問う</p>
		4 カラス対策について	<p>(1) カラスが市内にも増えてきていると思うが、状況を問う</p> <p>(2) 全国で発生しているカラス被害は、どのようなものがあるか</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成26年6月13日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>多和田 栄子 (社民党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 次世代育成支援行動計画について</p> <p>2 介護用品支給事業について</p> <p>3 環境行政について</p> <p>4 バス路線の拡充について</p>	<p>少子化対策の取り組みとして、平成17年に那覇市次世代育成支援行動計画が、10年間の時限立法として策定されている。前期が平成17年度から21年度、後期が22年度から26年度と進み、今年が最終年度となっている。以下問う</p> <p>(1) 待機児童解消のための進捗状況はどのようになっているのか</p> <p>(2) 26年度が最終年度となっているが、その後どのような方向づけになっているのか、問う</p> <p>高齢者が安心して、暮らせるためのサービスの提供は大事であると思う。その中から、紙おむつ助成について、以下伺う</p> <p>(1) 在宅療養においては、紙おむつの支給があるが、長期入院には支給がないという。なぜか</p> <p>(2) 支給している市町村はあるのか</p> <p>ごみ減量化を図るためごみ袋の有料化が平成14年にスタートして12年になる。現在、4種類（大・中・小・特小）のごみ袋が利用されている。近年、ひとり暮らしや夫婦世帯が増え、衛生面や経済面からみて、ごみ袋の種類を増やしてほしいという市民からの声を反映してきた。しかし、特小のごみ袋があるという実態が市民に周知されていない。もっと知らせるべきではないか、問う</p> <p>首里石嶺地域では、コミュニティバスの運行で、地域住民の足となり利用され喜ばれている。去年12月、石嶺福祉センター線が開通。地域の活性化に大きな前進であると喜ばれている。そのような中で、バスの運行を石嶺福祉センター通りまで延長してほしいという多くの期待の声があがっている</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 道路行政について	<p>モノレールとの乗り継ぎ地点、または、市外線乗継地点としてバス路線の延長は必要だと思う。今後の路線拡充について問う</p> <p>首里石嶺サンエースーパー近くの道路において、横断する際に、横断歩道表示が薄くなっているとても危険な状況である。近くにソロバン塾があり、子どもたちの横断が多い。早急に横断歩道表示の白線表示を整備する必要がある。見解を問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成26年6月13日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>清水 磨 男 (なは民主)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 スポーツについて</p> <p>2 姉妹都市について</p> <p>3 街の維持管理について</p> <p>4 子ども行政について</p>	<p>(1) カラーランの誘致を提案するが、見解を問う</p> <p>(2) プロレスやボクシングといった格闘技などについて、地元での発展と観光に資するよう、適した規模での施設整備を提案するが、見解を問う</p> <p>中小企業支援で注目されている川崎モデル、世界一の観光都市とも言えるホノルル市、これらのような姉妹都市の誇れる政策を那覇市は取り入れるなどの検討を行っているのか伺う</p> <p>(1) 庁舎内のトイレにハンドドライヤーや、ペーパータオル等が設置されていないことは、衛生面から問題はないのか問う</p> <p>(2) 保安灯について、民間広告を入れる形で設置や維持管理に取り組めないのか伺う</p> <p>(3) 久茂地小学校運動場であった位置にプレハブ事務所等を設置し、活動拠点とする予定だが、同機能は平成27年度以後どうなるのか問う</p> <p>(4) 久茂地川にかかるいくつかの道路には右折信号が無いが、那覇市の対応を問う</p> <p>(1) 乳幼児への応急手当として、AEDよりも心肺蘇生が重要であり、またそれら両方の講習を適切に保育士が受講できることが、子どもの生命を守るためにも重要であるが、那覇市としての考え方を問う</p> <p>(2) 国は2015年度限りで、ぎょう虫検査を廃止する予定だが、那覇市として重要性や継続の必要性に対する認識を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 義務教育段階から、ICTを活用するソフトの導入、反転学習、海外へも目を向けた進学や就職の意識付けが、那覇市の学力向上につながると考えるが、那覇市としての取り組みを問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成26年6月13日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>前泊美紀 (無所属の会)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 指定管理者制度について</p> <p>2 環境行政について</p> <p>3 子ども行政について</p>	<p>平成25年度の包括外部監査結果報告書「公の施設の管理運営及び指定管理者制度に関する事務の執行について」において指摘されている次の事項について、対応を伺う</p> <p>(1) モニタリング</p> <p>(2) 指定管理者の収支状況の把握</p> <p>(3) 労働環境について「労働者保護の観点から今後、公契約条例や協定が制定されることを期待する」と述べられていることについて</p> <p>(4) 指定管理者制度導入の可否</p> <p>(5) 市と事業実施上及び財政上密接に関連する団体について</p> <p>「第2次環境基本計画」について、以下伺う</p> <p>(1) 計画を実効性のあるものにするための取り組み</p> <p>(2) 地球温暖化の悪影響への備えと新しい気候条件を利用する「適応策」について、本計画では触れられていないが、「適応策」に対する見解を伺う</p> <p>(1) 子ども子育て支援新制度の特徴について</p> <p>(2) 昨年9月、新聞で「那覇市の児童手当10月定期支給の一部申請者に、書類不備が原因で425件の支給遅れが出る恐れがある」との報道があった。その後の対応と現状を伺う</p> <p>(3) 現況届など窓口が込み合う時期の対応について</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>